

家畜衛生だより



平成30年4月第3号(牛)
東部・北部家畜防疫獣医師会
(公社)千葉県畜産協会
東部家畜保健衛生所
TEL: 0475(52)4101
FAX: 0475(52)3335
<http://www.pref.chiba.lg.jp/nourinsui/kaho/toubu/index.html>

ゴールデンウィークに備え 更なる防疫対策の徹底を!

今月末からゴールデンウィークを迎えるに当たり、日本から海外への渡航者が増えることから、我が国への家畜伝染病の病原体が侵入・まん延するリスクが高くなると考えられます。

また、訪日外国人旅行者数が年々増加していますが、中国や韓国、モンゴルなどの東アジア地域においては、口蹄疫の発生が継続しています。

以下のとおり、対策を徹底しましょう!

★農場の従業員も含めた畜産関係者は、口蹄疫の発生国への渡航を可能な限り自粛しましょう!

※万が一発生国へ渡航する際、以下の点に注意願います。

(1) 渡航に当たっての注意

- ① 農場やと畜場などの畜産施設に立ち入らないこと。
- ② 海外で動物との不用意な接触を避けること。
- ③ 肉製品等を日本へ持ち帰らないこと。
- ④ 帰国の際には、到着した最寄りの動物検疫所カウンターへ立ち寄り、家畜防疫官の指導を受けること。



(2) 帰国後の注意

- ① 帰国後1週間、必要がある場合を除き農場に立ち入らないこと。
- ② 海外で使用した衣服及び靴を農場に持ち込まないこと。

(3) 農場への病原体の侵入防止について

- ① 農場に持ち込む物品や出入りする車両を消毒すること。
- ② 農場には必要のない人は立ち入らせない、不要な物を持ち込まないこと。

【口蹄疫特有の疑わしい症状は直ちに通報を!】

口蹄疫の症状は発熱や食欲不振に始まり、後によだれを流したり、口、蹄、乳房に水ぶくれができるのが主な特徴です。

毎日必ず健康観察し、上記の症状を発見次第、すぐに家畜保健衛生所に連絡しましょう。

平成30年度

牛ウイルス性下痢粘膜病検査について

今年度家畜保健衛生所では、希望農家に①～③の検査を実施いたします。

① バルク乳を使った検査（無料：スクリーニング検査 ※1）

【対象農場】 搾乳牛飼養農場

【検査対象】 検査時搾乳牛のみ

【実施時期】 年2回（7月・11月頃を予定）

【申請方法】 対象農場に通知・申請書を配布予定
（昨年度と同様の方法で実施をします）

② 定期検査の余剰血液を使った検査 （無料：スクリーニング検査 ※1）

【対象農場】 30年度定期検査（4年に1度）を実施する農場

【検査対象】 定期検査の対象牛（6カ月以上）

【実施時期】 定期検査と同時

【申請方法】 定期検査時、対象農家に通知・申請書を配布予定

（※1）スクリーニング検査は、農場内の複数の検査対象牛を同時に検査します。スクリーニング検査で陽性の場合は無料で個別の検査を行います。

③ 依頼による個体採血での検査（有料：個体ごと検査 ※2）

【対象農場】 すべての農場

【検査対象】 検査を希望する牛（30日齢以上）のみ

【実施時期】 通年

【申請方法】 東部家畜保健衛生所に直接連絡

（※2）販売・預託・証明書の発行を希望される場合は②の検査となります。

牛ウイルス性下痢・粘膜病(BVD-MD)とは ～持続感染牛(PI牛)対策～

BVD-MDは、牛ウイルス性下痢病ウイルスの感染による疾病で届出伝染病に指定されています。

牛群にウイルスが侵入し急性感染が起こると、一過性の発熱・呼吸器症状、下痢、乳量低下、繁殖障害等がみられ、免疫抑制も起こすため二次的に他の感染症を誘発します。また、妊娠牛が感染すると異常産(胚死滅・流死産・奇形)やPI牛が出生することがあります。

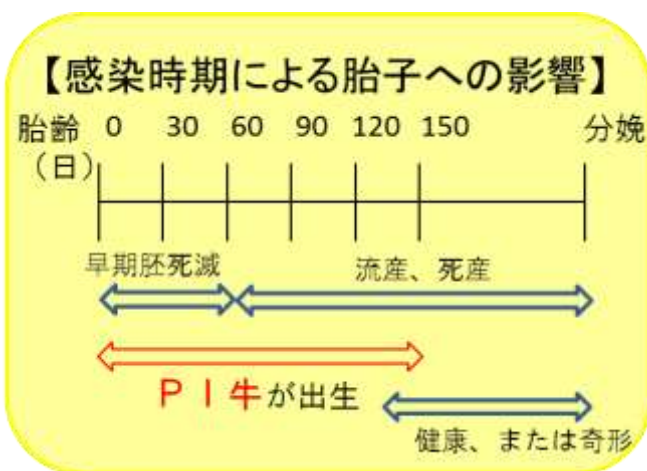
BVD-MDで一番問題となるのは、母牛の妊娠中(胎齢約4カ月頃までの間)に感染した時に産まれる事がある持続感染牛(PI牛)です。

PI牛は終生ウイルスを排出し続けるため、**農場の汚染源**となります。

PI牛は発育不良や慢性の下痢や呼吸器症状を示すこともありますが、**無症状の事もあります**。

まれに粘膜病(致死的な病状)を引き起こすこともあります。

PI牛が分娩する事もありますが、子宮内でウイルスに感染するため生まれる子牛は必ずPI牛です。



表引用：公益社団法人 千葉県畜産協会
パンフレット(牛ウイルス性下痢・粘膜病の発生防止に向けて)

対策

★早期発見・早期とう汰★

PI牛は一見正常に発育することも多く、臨床的に発見することは困難です。

PI牛に対しての治療法はないため、PI牛が見つかったら、その牛をとう汰するとともに、他にPI牛がないか確認しましょう。

★侵入防止★

導入時は陰性農場から導入しましょう。必要があれば導入時に検査を実施しましょう。

★適切なワクチン接種★

ウイルスのまん延を防ぐために、ワクチン接種が有効です。ワクチンには生と不活化がありますが、生ワクチンは妊娠時期に接種すると逆にPI牛を作ってしまう可能性があるため注意しましょう。接種の際は、かかりつけの診療獣医師に相談しましょう。

5月1日は『一斉消毒の日』です!

千葉県では、月1回「一斉消毒の日」を設定し、口蹄疫・高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の侵入防止と地域全体の防疫意識向上を目指しています。
5月1日には次の項目を実践して☑チェックを付けてみて下さい!!

農場入口に消石灰を散布



- ・消石灰が固まってしまったら、新しいものを散布しましょう。
- ・雨が降った次の日には散布しなおしましょう!

農場内立入者は衣服交換を実施!



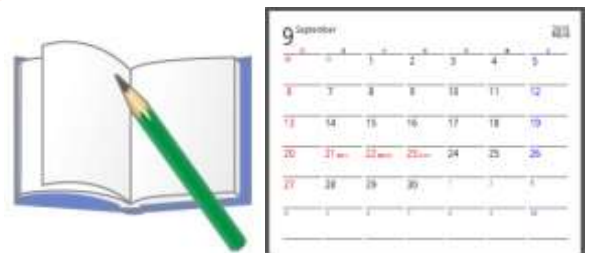
衛生管理区域へ立入る人は、専用の衣服を着用しましょう。

踏み込み消毒槽の薬液を交換!



汚れたり、時間がたったら薬液を交換して、消毒効果のある状態を保ちましょう!

来場者の記帳を確認!



台帳やカレンダーを用意して、農場に立ち入りした人の記録を残しましょう。

畜舎周囲の整理・清掃をしましょう



畜舎まわりの雑草を刈り、不要品を片付けて、野生動物の侵入を防ぎましょう。

毎月1日は一斉消毒の日
このイラストを使って、
確認してみましょう。



東部家畜保健衛生所
TEL:0475-52-4101
FAX:0475-52-3335